

平成12年度夕張研修会 ひとつの感想

教職課程委員会 人文学部委員 上野 誠治

教職課程委員としてこの夕張研修に参加するのは昨年度に続き2回目である。受け持った班に関しては、昨年同様、変に邪魔をしてはいけないと思い彼らの自主性に任せていた。班長には班活動について時々報告するように指示したが、その報告は皆無であった。子供の活動ではないのだし、事がスムーズに運ばなかったとしても自分たちの責任なのだから、それはそれでいいと思っていた。しかし、後で聞いてみると、内容の濃い班会議と、野外炊飯研修の予行演習を通して、夕張研修に向けての準備も十分に出来、メンバー同士の親睦も深まっていたらしい。

今回は、野外炊飯とディベート大会の審査員を務めることになった。野外炊飯に関しては、自由食でもっと創意工夫がほしかった。どの班も似たり寄ったりで審査が難しかった。また、ディベート大会に関しては、最初の対戦は互角の勝負で見応えがあった。しかし、残念ながら、他の対戦では、原稿の棒読みや新聞記事などをただコピーしただけの配布資料が多かった。観戦者のことを考慮して、生の議論をしてほしかったし、資料に関しても要点などを箇条書きにまとめて提示してほしかった。全体的な感想としては、ディベート内容の咀嚼がまだ不十分であったような印象を受けた。